



館報
 社団法人 玄洋社記念館
 発行 郵便番号 810-0073
 福岡市中央区舞鶴二丁目4番24号
 電話 (092) 771-3203
 F A X (092) 771-1326

玄洋社憲則

- 第一条 皇室ヲ敬戴ス可シ
- 第二条 本國ヲ愛重ス可シ
- 第三条 人民ノ権利ヲ固守ス可シ

紙齡
100号
特集



吉村剛太郎理事長

本紙「玄洋」は、四月一日付の今号で、紙齢百号に達しました。この栄えある紙齢に到達することができましたのも、一重に全国各地の玄洋社記念館協賛会員の皆様や、また、その時々取材にご協力いただき、あるいは貴重な時間をさいて興味あふれる原稿をお寄せくださった皆様のご理解とご協力の賜と、深く感謝いたしております。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

ただき偉大な足跡をまとも理解してもらいたいというところになると記念館の開設は、とりあえず目標に向かってその一歩を踏み出したにすぎないと言わざるを得ず、正確な史実を探り、細大もろさず収集・記録することが肝要であると痛感し、さしあたって館報を定

館報「玄洋」第100号発行に際して

内容の充実に一層努力

(社)玄洋社記念館理事長 吉村 剛太郎

本紙「玄洋」は、四月一日付の今号で、紙齢百号に達しました。この栄えある紙齢に到達することができましたのも、一重に全国各地の玄洋社記念館協賛会員の皆様や、また、その時々取材にご協力いただき、あるいは貴重な時間をさいて興味あふれる原稿をお寄せくださった皆様のご理解とご協力の賜と、深く感謝いたしております。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

ただき偉大な足跡をまとも理解してもらいたいというところになると記念館の開設は、とりあえず目標に向かってその一歩を踏み出したにすぎないと言わざるを得ず、正確な史実を探り、細大もろさず収集・記録することが肝要であると痛感し、さしあたって館報を定

洋社の「真実の姿」を伝え続けています。また、アジアの中の日本という視点が重視されるようになった。今、玄洋社に関する研究が盛んになり、研究者の来館も多く、マスメディアの取材も増えております。今年、玄洋社諸先輩が「皇室ヲ敬戴ス可シ」「本國ヲ愛重ス可シ」「人民ノ権利ヲ固守ス可シ」の憲則三箇条を掲げて玄洋社を設立して満百二十九年の年に当たります。その年に、当玄洋社記念館は創設三十周年(十一月)を迎えます。

利ヲ固守ス可シ」の憲則三箇条を掲げて玄洋社を設立して満百二十九年の年に当たります。その年に、当玄洋社記念館は創設三十周年(十一月)を迎えます。

利ヲ固守ス可シ」の憲則三箇条を掲げて玄洋社を設立して満百二十九年の年に当たります。その年に、当玄洋社記念館は創設三十周年(十一月)を迎えます。

進藤喜平太の思い出・第2部 「追悼録」から

進藤喜平太翁追懐記 吉田 庚

(玄洋社第七代社長)

武部、越智等西南役に戦死、或は歿去者は盡く東公園松林中に一區劃とし同列に墓碑を並べ、毎年、崇福寺玄洋社員墓場と同様、祭祀を怠らざりしが、終戦後は没収され墓前の事務、家屋の如きは手もふれしめず其の墓地にも云々あるやの官邊干渉に付、大分長く之れに手を染めず為めに近頃蓬々の雑草と悪戯の為めか墓碑の折れたるなどありしが、昭和廿九年八月八日、柔道場明道館内田幹事長の主唱によりて館員青壮年有志約三十人許りの有志者は、各自セメント、木材等を持ち寄り、或いは有志者の寄附せられた鉄條網、木柵等を用い、自ら進んで草を刈り墓石を継ぎ柵を張る等早朝より作業に従事し一日にて完了せしめ勤勞奉仕の意を達した。

工事完了後祭典を執行し、後有志の持寄りにより小宴を開きて詩吟、劍舞等の興を盡し、青壮年有志の意志を遂げ靈位を慰むる美談を残し、今日殆ど其状態旧に復したり。

彼の向浜塾開塾社の時、大久保内務卿の変事や、土佐板垣拳兵などの噂も立初め来島氏等は平尾に頭山氏訪問の結果、頭山氏は奈良原氏同伴、土佐に至り板垣に面会す。

板垣は自由民権思想による立憲政体民選議院の成立急務なりと弁説し、頭山氏等も之に賛同、政況視察の上約一ヶ月後福岡に帰りしが、既に一同は平尾山下の学塾に起居の時にて直ちに自由民権論を唱道し、土佐とも聯絡する所ありしが、明治十二年四月に到り向陽義塾を本町に創立し、頭山、進藤両氏、箱田六輔を塾長に推し別に政治結社向陽社を設立せり。

(続く)

廣田弘毅先生

生誕130年、歿後60年に

廣田弘毅先生は、戦前、戦後を通じて福岡県が生んだ一人の総理大臣である。明治十一年二月十四日、石工、徳平、タケ夫妻の長男として福岡の鍛冶町(現、中央区天神三丁目)に生ま



廣田先生の銅像前で斎行される顕彰祭は昨年

れた。ことし生誕百三十年を迎えた。昭和十一年、二・二六事件後の軍部台頭の中で総理大臣に就任。そして終戦でA級戦犯の罪に問われ、極東軍事裁判の法廷に立ち、十二月二十三日、文民でた六十

一切の弁明をせずに死刑の判決を受け、同二十三年露と消えた。ことし歿後六十

社団法人廣田弘毅記念青少年育成会は、廣田先生の銅像が建立された同五十七年以降、毎年五月に同区城内の銅像前で顕彰祭を斎行している。今年は同月十七日午前十一時からを予定している。参加費千円。詳細は玄洋社記念館(092-771-3203)へ問い合わせ、ご確認を。

進藤一馬先生が講談に
松原桜の物語
神田紅さんが熱演



熱演する神田紅さん

『玄洋』百号に思う

石瀧 豊美

連載した「女傑高場乱と弟子たち」である。第一号は昭和五十四年九月一日に発行されている。私と『玄洋』

らほします。歴史的史料としての価値を増すことだろう。

『玄洋』が戦前



ようとしている。最初に書いたのは昭和五十二年(一九七七)に発表した「高場乱小伝」玄洋社を育てた女傑」で、これは『増補版玄洋社発掘』(西日本新聞社)に収録している現在品切れで再刊を準備中)。

私のことは別にしても、『玄洋』のバックナンバーを読み直すと、実に貴重な論考、証言が掲載されている。すでに鬼籍に入った執筆

福岡にゆかりの先人たちの和歌に添えて救ったというもの。神田さんは、桜助命のいきさつを軸に、進藤先生の生い立ちから中野正剛先生、緒方竹虎先生、廣田弘毅先生らとの出会い、A級戦犯容疑での巣鴨拘留所拘留、衆議院議員当選、四期

玄洋社記念館の館報『玄洋』が百号を迎えたという。毎回『玄洋社関係史料の紹介』を書き継いでいるが、メ切に追われることがかりで、号数にまで思いが至らなかった。

その後、私のリストで七番目に位置しているのが、『玄洋』第一号から二二回。今でも、そしてこれか

道。広田弘毅外務大臣も出席している。この翌年、二・二六事件の後に大命降下して総理大臣になろうとは夢にも思っていない。広田弘毅は『玄洋』発行に陰の援助を与えた一人である。題字の下には玄洋社理事長美和作次郎の「創刊之辞」を載せている。

私は自分の著作目録を作

公開しているが(……「イシタキ」で検索すると私のサイト・イシタキ人権学研究所にたどりつきます)、もう少しで五〇〇点に達し

た。私は幸いその『玄洋』創刊号を入手しているの

で、この機会に紹介させて

らばますます、歴史的史料

とのお付き合いは断続的に

いた月刊紙『玄洋』のタイ

トルを引き継いでいること

はどれだけの人がご存じだ

ろうか。昭和十年六月一日

に創刊号が出され、戦時下の

事は五月二十三日、東京で

の十九年十月十五日に出た

第百十三号で廃刊となっ

た。私は幸いその『玄洋』

創刊号を入手しているの



『玄洋』創刊号の1面(部分)

創刊号を入手しているの

で、この機会に紹介させて

いただくことにしよう。

タブロイド判四頁で、題

字のデザインは九州福岡を

中心にした同心円が朝鮮半

島・中国大陸へと及んでいる

の援助を与えた一人であ

る。解説では、玄洋の文字

は孫文の書で、今後毎号社

員が揮毫していくことにな

っている。またデザイン

(福岡地方史研究会会長

民が木の幹に掲示した助命

上げたという。

神田さんは、進藤先生の

生き方のなかに、父、喜平

太翁から引き継がれた「武

士道」に通じるものを感じ

た。それを表現するために

平成20年度 会費納入のお願い

玄洋社記念館賛助会員の皆様にはご健勝で過ごされたこととお喜び申し上げます。また、当記念館の活動への日頃からのご理解とご協力を、心からお礼申し上げます。

【賛助会費の額】

▽個人会員 二口一万円
▽法人・団体会員 一口三万円

納入は郵便振込または銀行振込でお願い致します。振込先は次のとおりです。

今年進藤一馬先生が当記念館を創設されて三十周年。感慨新たなものがあります。

【郵便振込】口座番号 01770011200738

【銀行振込】西日本シティ銀行赤坂門支店 普通預金 口座番号0740047

宛名は「玄洋社記念館」です。

誠に恐縮ではありますが、何卒よろしくお願い致します。

玄洋社記念館 法人

賛助会員芳名録

20年2月1日現在 (敬称略)

▼個人の部

- 石田 廣道 (シンガポール) 二万円
- 嶋津 好子 (筑紫野市) 二万円
- 古田 修吾 (東京都) 一万円
- 藤原 好克 (福岡市)

- 大島 泰治 (大野城市)
- 古嶋 環 (福岡市)
- 金原 勝 (三島市)
- 橋田 文也 (福岡市)
- 上杉 清文 (富士市)
- 若尾 久 (福岡市)
- 阿部 珠理 (東京都)

祝「玄洋」第100号発行

建設コンサルタンツ
建設事業の計画・調査・測量・設計・施工管理
ジーアンドエヌ・エンジニアリング株式会社

代表取締役 花田 三郎 勲
代表取締役 長尾 三郎

本社 福岡市博多区東比恵三丁目二四一九
〒八二〇〇七電話(092)48113100
東京支社 東京都杉並区高円寺南一丁目三三
〒一六〇〇〇三電話(03)537815800
営業所 千葉・浦和・神奈川・山口・佐賀・北九州・大分・長崎

福岡鮮魚市場のユア企業!! 21世紀の水産業界を領導するアキラグループ
◆鮮魚卸業◆

株式会社 アキラ水産

代表取締役社長 安部 泰宏

AKIRA
Oh, Fresh! Sea foods.
本 社 福岡市中央区長浜3丁目11-3111
電話092-71116601(代表)
関連会社/株式会社コウトク水産

造園・緑化 自然とコミュニケーション

株式会社 別府梢風園

代表取締役社長 別府 壽信



本社 〒8305 福岡市東区青葉一丁目六六一五三
TEL 092-9169110(六七八代)
FAX 092-9169114(四五五四)
E-mail: info@shouten.co.jp

(財)日本医療機能評価機構認定

開放型病院・臨床研修指定病院

特定医療法人

原土井病院

理事長 原 寛

〒813-8588 福岡市東区青葉6丁目40番8号
☎092-691-3881(代)
http://www.haradoi-hospital.com/

損害保険コンサルタンツ
太宰府天満宮前駐車場
漢方薬相談 とおりやんせ

(有)日産企画 大江田 信

薬剤師 大江田 美子

〒818-0117 太宰府市宰府三丁目四一二十一
☎092-924-6296

創業 文化五年(一八〇八年)
合資会社 米長商店

味噌・醤油
富永信太郎

〒819-0373 福岡市西区周船寺三丁目一一番六四号
電話(092)8061101
FAX(092)8061101

株式会社 アクタ

代表取締役 柴田 伊智郎

〒811-3105 福岡県古賀市鹿部三三五一一
TEL(092)9431393
FAX(092)9441210
〒八二二 http://www.akta-web.co.jp/

地域に未来を描く
技術士事務所・一級建築士事務所
株式会社 環境計画研究所

代表取締役 小野 勇夫
代表取締役 佐藤 伸道

福岡市中央区舞鶴一丁目四番七号
TEL 092-7161780
FAX 092-7161780

株式会社 正永

代表取締役 永岡 照正

福岡市東区二又瀬二番五号
電話代(092)6113377
FAX(092)6113380
E-mail: info@k-shoei.co.jp

九星飲料工業株式会社

代表取締役 仲原 志平

本社 福岡県前原市大字波多江字中川原一〇〇
伊都工場 電話(092)3341999
FAX(092)3341999

http://www.kyusei.co.jp/

玄洋社関係史料の紹介

石瀧 豊美

第 42 回

宇田川文海『西南拾遺』(十二)

(早稲田大学図書館所蔵)

明治十二年九月刊行

小室信介

宇田川文海編輯

『西南拾遺』卷之三

震志、四十八坂に

依田氏の由来を聞く

孤館に宿る時風雨を帯ぶ。遠帆帰る処、水空に連ると古人の詩にうたひしも、実に理りにや思ふらん。震志は年月定めず、他方の空に草枕旅寝の夢も独寝の徒然に堪えかね、風の音雨の声にも驚かされて、或時は渡口の船に空と水のかぎりなきを見て、いと、悲みをますなんと、云ふも中々おろかなり。

今日しも巖島より便船に乗りて広島に赴むかんとなしたりしが、船路半にして逆風の為に吹き流され、少時は行手も分ちがたき程

ななりしが、半日余りも海上に漂ひて、やがて流されし儘かなたの岸へ着にけり。是れ安芸と周防の界なる玖波村に近き、一の漁村にぞありける。

志ざす方とはいたく違ひたれど、無事に着しを祝しあひて、乗合の人々己が随意四方に散りゆきければ、震志もこれ等に別れて、広島地方へあゆみ行きける。玖波より広島の間には四十八坂と云ふ嶺ありて、山峻しく路滑かなり。頃しも月の半なれば、かの紀の貫之が、白露もしぐれもいたくもる山は下葉のこらず紅葉しにけり、とよみしもおもひ出されて、黄ばみ落る梧桐の葉、紅に染なす蔦紅葉、往來の人も錦を飾りし心地せられつ。

かの樵蘇往反して杖朱買臣の衣を穿ち、隠逸優遊し

て履葛稚仙の葉を履むと詠ぜしも、かくやとおもはる。かくて震志はこの嶺を半も過ぎし処にて、新しく建なせる一の小祠あるを見認め。いかなる神をや祭りけむと近き見るに、祠の前後は旗幟なんどいかめしう立並べ、正面には一の石碑ありて隸書もて宮藩依田子之墓となん鐫つけ、其前後左右には香火の烟充滿て、

祠の中も見えわかぬばかりぜしも、如何なる者の墓なるらん。何てふ神の祠にや、といぶかしき儘立止りつ、傍の床机に腰打掛け、魚茶にはあれど一服と、小祠守の翁が差出す茶碗を手に取りつ、扱翁に問ひけるは、此の小祠はしもいかなる神を崇めし者か。見れば新しき墓碑さへあるは昔よりの古の氣象あり。幼年書を読て志を遠大に期し、国を去て西京に至り儒学を鈴木恕平翁の門に学び、後甲州流の軍学を幕士久保田何某に受け、兼て田宮流の兵法に達しければ、帰藩の後、藩主の覚え他に異なりて、直に先鋒隊の軍監とぞなされける。

是時直恒氏も伯州の密旨を受けて、宍戸等の跡を逐ふて長州の陣屋に至らんとて、馬に打乗り広島を立れけり。是れ慶応二年寅の七月九日の晩なりき。斯くて直恒氏は駿馬に諸鎧合しつ、四十八坂に登り来るに馬をば留めたりと云ひさし、ホツと一息つき、あな苦し、長きはなしを述つて、喉の乾きを知らざりき。一寸息つき候はんと、傍の茶碗手にとりて少時喉を湿しけり。

か、りければ、直恒氏にも君恩の忝じけなきに忠魂骨身に徹し、平生は軍学兵法を以て藩士の師範となり、事ある時はいかで一命を君にさ、げて知遇の恩をも報はゞやと志しぬ。其頃は天下次第に物騒がしうなりて、大和に五条の乱あり。常陸に天狗党の騒ぎあり。但馬、生野、長州、攘夷など実には天下は麻の如く乱れ、英雄は蜂の如く起るの時ともいふべかりしか



震志は船で広島に向かったが…(写真は現在の広島市街)

か、りければ、直恒氏にも君恩の忝じけなきに忠魂骨身に徹し、平生は軍学兵法を以て藩士の師範となり、事ある時はいかで一命を君にさ、げて知遇の恩をも報はゞやと志しぬ。其頃は天下次第に物騒がしうなりて、大和に五条の乱あり。常陸に天狗党の騒ぎあり。但馬、生野、長州、攘夷など実には天下は麻の如く乱れ、英雄は蜂の如く起るの時ともいふべかりしか

は皆打敗れて、今は彼国征伐は思ひもよらぬ景況とはなり候ひぬ。

か、りければ松平伯州深く天下の為にこれを憂へ玉ひて、いかでよき策略を運らして敵鋒を弛むる事もやと考へ玉ひ、曩に小笠原志州の手にて虜となりし宍戸備後助、小田村何某に密旨を授けて彼地へ放ち、還し玉ひければ、大将伊弉殿いなくこれを憤り玉ひて、伯州を大坂に逐かへし玉へたり。

(続く)